

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府営高野台住宅(1丁目)民活	階数	地上13F
建設地	大阪府吹田市高野台一丁目1番230	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	648 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2017年5月15日
敷地面積	2,779 m <sup>2</sup>	作成者	鈴木緑
建築面積	476 m <sup>2</sup>	確認日	2017年6月8日
延床面積	4,249 m <sup>2</sup>	確認者	中村浩二



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境に配慮するとともに、建物の形状や色彩が周辺建物と調和するよう計画しています。	その他 特になし。
Q1 室内環境	室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用しています。	Q3 室外環境(敷地内) エントランス付近に緑地広場を設けるなど、良好な住環境に配慮する計画としています。
LR1 エネルギー	住宅性能評価の断熱等性能等級3取得予定。	LR3 敷地外環境 敷地周縁部に緑地帯を設け、周辺地域に緑地景観を提供しています。
Q2 サービス性能	耐久性に優れた建物を計画しています。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が容易に分別可能となっています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0029

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	大阪府営高野台住宅(1丁目)民活プロジェクト新築工事(第二工区北敷地)					
		建設地	大阪府吹田市高野台一丁目1番23の一部					
		用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
<b>再生可能エネルギー 利用施設の導入状況</b>		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
<b>エネルギー消費量の報告</b>							対象外	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.2	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体		3	
					住戸・宿泊	3.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.4		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				2.2		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								